

平成26年度第2回「推進会議」の概要について（案）

【会議次第及び内容（要旨）】

1 開会

- 環境生活部長あいさつ
- 推進会議会長あいさつ
- 新任委員・代理出席者の自己紹介

2 議事

議題1「県内の犯罪情勢等について」～治安概要の説明【警察本部生活安全企画課】

(1) 刑法犯認知件数

- 平成25年刑法犯認知件数...19,726件
- 平成26年9月末現在の刑法犯認知件数...13,316件
- 1か月約1,500件の刑法犯認知件数で、年間総数は昨年と同じくらいになるのではないかと思われる。
- 刑法犯認知件数は、平成14年をピークに減少しているが、凶悪事件の発生や女性や子どもに対する犯罪の発生により、体感治安の改善には至っていない。
- 類型別では、「忍込み」「路上強盗」が増加傾向にある。特に「忍込み」については、北勢、中勢地区で多発し、無締りの窓などから侵入する手口が多い。また、深夜に在宅の住居に侵入する犯罪であり、犯人と遭遇する可能性の高い危険な犯罪であるので、戸締りや補助錠の推進を図っている。
- 主として深夜の一人歩きを狙った「路上強盗」については7件発生しており、街路灯の増設、整備を市町に対して依頼している。また、地域住民の方には、玄関の門灯を点灯していただきたい。

(2) 特殊詐欺等

- 本年9月末では65件、被害額約4億4,380万円（前年比-17件、+約5,100万円）、件数では昨年の年間件数を下回るが被害金額が増加している。
- 「振り込め詐欺」の認知度は高くなってきているが、それ以外の特殊詐欺についてはまだまだであり、広報啓発をさらに推進していきたい。
- 犯行手口において、レターパック等を利用する「現金送付型」については、65件中24件、犯人グループが現金を受け取りに来る「現金手渡し型」は13件発生している。
- 被害者については、平均して概ね65歳以上で、女性が約70%となっている。犯人からの電話は、金融機関の窓口が開いている時間帯にかかるので、その時間帯に在宅している人が被害に遭っている。
- 「人情つけ込み詐欺」の被害防止をを広報するため、ポスターコンクール優良賞作品を載せたチラシを作成したので、知事が出演するビデオレターとともに活用していきたい。

(3) 不審者情報等

- 本年9月末現在で944件（前年同期比+225件）で増加傾向あり、神戸市の小

学1年女児殺害事件のような痛ましい事件は、県内でもいつ、どこで発生するかもしれないという危機感を持っている。

- ・ 子ども安全を図るため、今年度から県内に9名の「チャイルドガーディアン」を配置している。また、「街頭緊急警報装置」については、各地域や学校で作動訓練をしている。
- ・ 企業との連携では、昨日も600名のセールスレディが在籍する保険会社と協定を結び、子どもの危険を察知したのならば、保護して警察への通報をお願いしている。

議題2 「安全安心まちづくり事業等について」～県事業の取組説明【環境生活部】

- ・ 平成26年10月25日(土)及び同年11月1日(土)開催予定の「犯罪のないまちづくりリーダー養成講座in四日市」の説明
- ・ 同年11月16日(日)開催予定の「みえ防犯キャンパス」の説明

議題3 「地域における防犯活動について」～自主防犯活動の概要説明

【四日市市富田地区自主防犯団体「地域安全すみれ会」会長】

- ・ 「地域安全すみれ会」は、自主防犯団体として平成8年8月に四日市市富田地区内の各種15団体から選ばれた女性だけで発足し、平成16年7月には、地区内の保育園、幼稚園の保護者全員の参加と、小学校、中学校の女性教諭及びPTAから選出された女性の参加を得て「買い物パトロール隊」を結成した。現在のパトロール隊員は約450名となっている。
- ・ 活動としては、買い物時に不審者(車)の発見や通報、地域安全マップを作成して危険か所の調査と広報、会員と幼稚園児を対象とした「街頭緊急警報装置」の見学と訓練、月1回の高齢者を対象とした茶話会「すみれサロン」の開催、年3回の警察、市職員、自治会、学校等との情報交換、問題共有、防犯研修を目的とした「買物パトロール隊懇談会」の開催、広報紙「買物パトロールだより」の発行などがある。
- ・ 活動方針は、会員に負担をかけず長く活動してもらうために、「いつでも」「気軽に」「できる時に」を心掛けており、さらに自分たちのみならず、警察をはじめとする関係機関や地域住民・自治会と連携した活動を実施するようにしている。
- ・ 活動の効果として、防犯に対する住民の認識が高くなり、街なかのゴミの散乱や少年のたまり場など、今まで地域の問題となっていたことが少しずつ改善されてきており、「犯罪の発生しにくい地域づくり」ができつつあると思う。
- ・ 今後の活動は、個人のパトロールと平行して、四日市市や防犯協会から貸与を受けた防犯ベストを着用しての集団パトロールによる「見せる防犯」をも実施していきたい。

意見交換・質疑応答

Q 自主防犯活動団体において、女性の参加者が非常に少ないのが現状であるが、女性の参加者を増やすためにはどうしたら良いか伺いたい。

A 「地域安全すみれ会」が結成されて18年経つが、結成当時は参加者を獲得することが大変であった。でも、地区の各種団体・サークルや保育所、幼稚園、小・中学校の先生及びPTAに協力を依頼して参加者を出していただき、その活動に参加する者

にとって、楽しく、やりがいのある充実したものにしていくことで、今も継続できていると思う。

防犯、交通安全や子どもを見守る活動では、パトロール等の直接的な活動以外に、関係機関・団体と連携して、交通安全教室や地区行事における手作りクッキー、みたらし団子等の販売など、女性の活躍できる活動を積極的に組み入れることによって、女性の参加が増えるのではないかと思う。

Q 四日市市には、他にも女性だけの自主防犯活動団体が存在するのか。

A 全国的にはあるのかどうか分からないが、四日市市では婦人会がなくなっているの
で、女性だけで活動する防犯団体は自分たちの「地域安全すみれ会」だけであると
市役所の防犯担当者から聞いている。また近々実施される地区の防災訓練において
も、私たちが炊き出し訓練を担当させていただくことになっている。

Q 地域安全マップ4,000枚分の印刷代や、配布する防犯グッズの作成費用などの
活動資金はどうしているか。

A 市役所からいただいている補助金や、地区イベント等で販売する物品の収益金を充
当しているが、今後の活動を拡充するために、自治会や社会福祉協議会等にも相談し
て資金の増加を図っていきたい。

3 閉会